



妙高市立妙高高原北小学校 2学期開始号

学校だより

令和2年8月28日

為せば成る

校長 岡田 和則

例年より短い、25日間の夏休みが終了しました。首都圏等では感染に歯止めがかからず、いまだ続く行動制限により、これまで過ごしたことの無い不自由な夏休みだったのではないのでしょうか。1学期末のお便りで「充実した夏休みに」とお願いしたのですが、このような状況で動きもままならず、心に残る経験ができたかどうか、ストレスがたまらなかったかどうか、始業式前には多くの気懸りがありました。

しかし、8月26日、元気いっぱい爽やかな表情で登校してくる子供たちを目にすることができ、その気懸りは一瞬で晴れました。曇った表情の子は一人もいません。元気が第一、何よりもそれが嬉しく、充実した2学期になることを確信しました。

そして、72名のスタートとなった始業式では、学年代表によるめあて発表の後、次の言葉を伝えることにしていました。

「**為せば成る**」(為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり)

(上杉謙信から数えて10代目、米沢藩主の上杉鷹山(治憲)の言葉です。上杉家は謙信亡き後、会津、米沢と配置換えされました。)

江戸中期、東北地方は未曾有の飢饉に襲われ、米沢藩も困窮を極めていました。17歳で藩主となった彼は、当初改革に大きな抵抗を受けながらも自ら質素儉約に努め、不退転の決意で産業の育成や教育振興、藩政の改革を行います。様々な困難を乗り越え、藩を立て直した鷹山は、幕府に認められ、明治になってからも修身の教科書に取り上げられるなどしました。その功績は英文にも翻訳され、ケネディ大統領が知っている日本人として真っ先に挙げるほどだったという逸話も残されています。

めあて発表のトップバッターは1年中井さんです。「2学期にがんばることを3つ発表します。一つ目は国語のお勉強です。かたかなや漢字を毎日ノートに書いて、テストで100点を取りたいです。二つ目は音楽です。ピアノの練習をたくさんして…(後略)」新しい学期に向け、6人の代表が堂々と、がんばりたいこと、目標や夢について語ってくれました。



「あきらめるな、やればできるよ、がんばれ、**為せば成る!**」

まだしばらくの間は、様々な困難に直面することもあるでしょう。自分自身を鼓舞、また他への励まし、勇気づける言葉として、「為せば成る」。ことあるごとに子供たちには伝え、励ましていきたいと思っています。

がんばる子供たちの応援団として、手を携えながら成長を支援していきましょう、保護者、地域の皆様には今学期もよろしく願いいたします。

2学期、当面の主な学校行事等について

新型コロナウイルス対応のため、様々な活動が中止に追い込まれ、今のこの時にしか経験できない大切な成長の機会を失ってきた子供たちです。そんな中でしたが、できることをできる範囲でということを取り組んできた1学期でした。

しかし時を経て、少しずつ変化の兆しも見え始めました。世界中の医療関係者、科学者の努力により、見えない敵のウイルスについて、「科学的エビデンス（証拠、根拠、証明）」が集まり始めています。正体が捉えられず、恐れるのみの存在であった時期は行動制限せざるを得ませんでした。対応にも変化が求められてきているところです。むしろ今私たちが恐れなければならないのは、見えざる敵、人の心に潜む「差別・偏見」です。根拠のないうわさ、誹謗・中傷が、私たちが闘わなくてはならない相手になっています。

今後さらに明らかになってくるであろう、コロナウイルスの正体に科学的に向き合い、差別・偏見を許さない態度が育てていけるよう、命を守りながら2学期の学校生活を次のように進めていきます。

< 9月 >

(※妙高市親善陸上大会は中止です。)

○9月2日(水) 避難訓練(地震想定) 災害時引き渡し訓練

感染予防対策を取りながらの災害時の避難が問われています。自然災害はどんな状況下でも突然我々の生活に襲い掛かってきます。命を守るため、引き渡し訓練も含めて実施します。詳細は、別紙計画を確認してください。

○9月11日(金) 青空なかよしウォークラリー

縦割り班で地域を歩き、問題を解きながらふるさとの理解を深めます。昼食は、昨年好評だった「笹ずし」を今年度もCSの皆様のご協力により味わいます。コースは約6km、昨年より緑の多いコースを歩くようにしました。ボランティアでもぜひご参加ください。

○9月25日(金) 合同マラソン大会

開・閉会式を行わず、競技中心に実施します。またスタートは、密集を避けるため学年別男女別(昨年までは、低中高)といたします。来場の制限は設けません。社会的距離を確保しながら、ぜひご家族お揃いで応援にお出かけください。

< 10月 >

(※上越地区陸上大会、上越地区管楽器フェスティバルは中止です。)

○10月17日(土) 青空こども祭り

午前の部は、5月に実施できなかった運動会を「ミニ運動会」として実施します。雨天の場合は、妙高高原体育館にてレクレーション種目を中心に体を動かす活動を行います。午後は、釣り大会やペットボトルロケット、ニュースポーツなど4つの体験活動を行います。

作品展、音楽発表は、時期を変更して実施の予定です。

○10月28日(水)～30日(金) 6年修学旅行

県内「佐渡」で、2泊3日の「体験旅行」として実施の予定です。様々な活動が中止・縮小となり、寂しい思いを余儀なくされてきた6年生ですが、小学校生活最後の学年で最高の思い出となるべく、様々な体験に取り組んでくる予定です。

< 1 1 月 >

(※妙高市音楽発表会は中止です。)

○ 1 1 月 1 7 日 (火) 学 習 参 観 日 、 青 空 作 品 展

差別、偏見を許さない教育(道徳、人権教育、同和教育)に関わる授業公開を行います。子ども祭りに実施しなかった作品展もこの日に実施します。平日ではありますが、祖父母の皆様も含めぜひご家族お揃いで子供たちの心の育ちの様子、表現活動をご覧ください。

保護者アンケートの結果をお知らせします。

1学期末、大変お忙しいところ、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございます。紙面の関係上一部まとめさせていただきましたが、以下紹介します。

【学校に対する意見 全6項目】

	質問項目	肯定的評価
1	教育目標は、地域の子どもの実態や地域・保護者の願いに合っているか。	100%
2	アンケートや教育相談をとおして、いじめのない学校づくりに努めているか。	98.6%
3	学校職員は、子供を大切に温かく時には厳しく導いてくれているか。	98.6%
4	P T A、学校・学級だよりなどで、学校の様子がよく分かるか。	97.3%
5	地域や家庭と連携した教育を進めようとしているか。	97.3%
6	子どもの学習や生活について気軽に相談できる雰囲気はあるか	95.9%

【子供たちへの願い、課題 全14項目中、上下各3項目】

1	子どもは、毎日楽しく学校へ通っていると思うか。	98.6%
2	子どもは、友達と仲良く遊んだり行動したりしていると思うか。	98.6%
3	行事や学習参観などで、子どもたちが友達と一緒にかわりながら学び合う姿が見られるか。	97.3%
1	朝読書や週末読書などの取組により、読書が好きな子どもに育ってきていると思うか。	71.2%
2	家庭学習の開始時刻や学習時間を意識して取り組む習慣が身に付いてきたか。	72.6%
3	子どもはテレビを見る時間やゲームをする時間を決めているか。	79.5%

→楽しく学校に来てくれていることは嬉しい限りです。また本当に優しく、仲良く遊ぶ姿が見られます。一方で、「自らの力で生活を創り出していく」項目の評価が厳しくなっています。たくましく生きていく、自立する力を付けていく必要があります。

<自由記述 1学期の学校生活>

○先生方には愛情をもって子供に接していただき、それが本人の大きな成長につながっているのだと思います。心より感謝申し上げます。

○予期せぬコロナウイルスによる登校自粛で、楽しみにしていた友達との学校生活ができない中、5月より手探りながら1学期が本格的に始まりました。運動会や校外体験が中止になったり宿泊ができなくなったりしましたが、学校側のご配慮により工夫のなされた取組をしていただきました。授業の状況に合わせて授業内容を変更しながら進めていただき、大変ありがたく安心して登校できました。

△朝運動がなくなったことで、子どもたちの体力づくりに多少なりとも影響が出てくると思われます。来年度以降、体力テストの数値を使って検証していただけたらと思います。

→体力テストの結果では、やはり体力の落ち込みが見られました。徐々に体力づくりの活動を再開しているところです。ご家庭でも積極的に体を動かせるようお声掛けください。

・まだまだコロナ感染が心配ですが、引き続き、いろいろなことを子どもたちに経験させていただきたいと思います。

・屋外の活動については、家庭で楽しそうに話をしてくれていました。2学期も屋外での活動を増やしていただけるとよいです。

→学習活動については、新しい生活様式が前提ですが、ほぼ通常通り進めることができます。「2学期の学校生活について」で示したように、現在のところは各行事を実施していく予定です。ご来校の際には保護者の皆様も「検温」「入校時の手指消毒」「マスク着用」「体調不良時は来校しない」「社会的距離の確保」へのご協力をお願いします。

・全体的に活気がないので、あいさつの徹底を重視してほしい。

→あいさつについては、様々にご意見を頂戴しているところです。これは、学校、家庭、地域、全ての関わり合う方々の協力なしには進められません。また単にあいさつというよりも、「声を出す」ということも重要です。黙ってするのではなく声を出す、そして行動する。返事や感謝を表すことを含め、あいさつは、人として行う「当たり前のこと」の一つです。

当たり前の十か条

- ①名前を呼ばれたら元気よく返事をする。
- ②ゴミが落ちていたら拾う
- ③明るいあいさつをする
- ④何かをしてもらったら「ありがとう」をいう
- ⑤使ったものは必ず元のところへもどす
- ⑥人のものには手を出さない
- ⑦人のめいわくになることはしない
- ⑧わるいことをしたら「ごめんなさい」という
- ⑨ルールを守る
- ⑩食事の前には手を洗い、ご飯はよくかんで食べる

つまり、これは躰しづでもあります。人としての美しさを身に付けさせるということです。あいさつも含め、当たり前のことが当たり前でできる子供を育てていきましょう。

・子どもの複式学級はあまり良い思いをしていないので、子どもにも分かるように説明していただけるとありがたいです。

→児童数減少により、少人数で学習するよりも、チームゲーム等ある程度まとまった人数で行う方が学習効果の上がる場合があります。低、中、高のくくりで学習を進める場合があることをご承知おきください。なお、今夏の3年生の転出により、当校も「複式学級」の可能性が出てきました。上下の隣接学年合わせて16人になると、複式学級となります。南小はR4年度にその対象となり、検討委員会が持たれているところです。当校においても児童数減少は待ったなしの問題になってきました。様々に議論していただければ幸いです。

<お知らせ、お願い>

・「学級だより」について、これまで週1回（主に金）を目安に発行してきましたが、連絡帳で随時お知らせした方がよいこと、タイムリーにお知らせした方がよいこと等あり、今後学年ごとのペースで、必ずしも金曜日に発行しない場合がありますので、よろしく願いいたします。

・音楽室、理科室にエアコンを入れていただきます。その工事に伴い、9月中は足場が組まれています。車で来校される場合、駐車スペースが限られますのでご注意ください。

・上越教育大学から教育実習生を受け入れる予定でしたが、学生2名の新型コロナ陽性が確認されたところから、9月の教育実習は中止となりました。